

様式第 5 0 （規則第 9 0 条の 2 関係）

× 整 理 番 号	
× 審 査 結 果	
× 受 理 日	年 月 日
× 許 可 番 号	

火薬類譲受・消費許可申請書

平成 2 6 年 4 月 2 日

長 崎 県 知 事 殿

(申請者)
住 所 長崎市江戸町 1 番 1 号
氏 名 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 ㊞

名 称	長崎建設株式会社					
事 務 所 所 在 地 (電 話)	長崎市江戸町1番1号 (095-111-0000)					
職 業	総合土木建設業					
(代表者) 住 所 氏 名 (年 令)	長崎 太郎 (55歳) 長崎市江戸町 1 番2号					
火 薬 類 の 種 類 及 び 数 量	火 薬	爆 薬	工業雷管	電気雷管	導火線	
	kg 50	kg 1200	個 150	個 1800	m 30	
目 的	県道51号線 新設・改良に伴う岩石破碎					
譲 受 期 間 (6 ヶ 月 を 超 え な い こ と 。)	自 平成 2 6 年 5 月 1 日 至 平成 2 6 年 1 0 月 3 1 日					
貯 蔵 又 は 保 管 場 所	長崎中央火薬販売店 所有 1 級 火薬庫					
消費 に 関 する 事項	場 所	長崎 市 小江原 町 1 2 3 4 ～ 2 3 4 5 番地外 1 3 筆				
	日時(期間)	自 平成 2 6 年 5 月 1 日 至 平成 2 6 年 1 0 月 3 1 日				
	危 険 予 防 の 方 法	別紙のとおり				

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
2 ×印の欄は、記載しないこと。

火 薬 類 消 費 場 所 見 取 図	
1 代表者名	長崎 太郎
2 消費場所	長崎市小江原町 1 2 3 4 ～ 2 3 4 5 番地外 1 3 筆
3 見 取 図	
消費場所 火薬庫 [㊦] 火薬庫外貯蔵所 [㊦] 火薬類取扱所 [㊦] 見張人・警戒人	
凡例	
火工所 [㊦] 学校 [㊦] 家屋 村落の家屋 ○○戸 市街地	

- (注) 1 消費場所を中心とし、200m 以内にある保安物件は、その名称等を漏れなく明記し、消費場所から保安物件までの距離を記載すること。
- 2 消費場所は赤色明示し、消費場所へ行く途中の道順及び目標物を明記すること。
- 3 付近に家屋がある場合は、番号を付し、消費承諾書の頭部に番号を付けること。
- 4 本図に記載困難な場合は、別の詳細図に添付すること。

住 所 長崎市江戸町1番1号

事 業 所 長崎建設株式会社

代表者名 代表取締役 長崎 太郎

㊞

火 薬 類 取 扱 従 事 者 明 細 書

取 扱 従 事 者 内 容	氏 名	年 齢 (満)	免 状 等 の 種 類	手帳の種類	社員の区分
管 理 責 任 者	長崎 一郎	45	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
火 薬 類 取 扱 所 正 責 任 者	福岡 次郎	51	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃 帳 簿 記 載 者			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃 見 張 人			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
火 工 所 正 責 任 者	佐賀 三郎	41	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃 帳 簿 記 載 者			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃 見 張 人			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
発 破 係	熊本 四郎	56	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
現 場 警 戒	宮崎 五郎	45	甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
火 薬 類 運 搬 人	長崎中央火薬販売 店の社員		甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向
〃			甲種・乙種・発破技士	保安・従事	自社・出向

火薬庫から火薬類取扱所までの距離

7 km

(注) 1 免状等の種類、手帳の種類、社員の区分欄は、該当するものを○で囲むこと。

2 申請時には、必ず各々の手帳を持参すること。

火 薬 類 消 費 見 積 及 び 実 績 表					
採取量等工 事量の大き さ(㎡)	㎡ 4000	岩石等 1 ㎡当り の碎石に必要な 平均薬量(g)	g 300	採取等に必要な火薬類 の薬量(kg)	Kg 12000
見 積				実 績	
火 薬 類 の 種 類	申請期間の 数量	1 日の最大消 費 見 込 数 量	1 ケ月の最大 消費見込数量	平成 年 月 日 平成 年 月 日	
火 薬	50 Kg	5 Kg	10 Kg		Kg
爆 薬	600 Kg	50 Kg	350 Kg		Kg
雷 管	2000 個	130 個	240 個		個
導 火 線	30 m	5 m	25 m		m
建設用鋸打 銃 用 空 包	個	個	個		個
コンクリー ト 破 砕 器	個	個	個		個

1 ケ月に 25kg 以上の火薬又は爆薬を消費する場合の火薬類取扱保安責任者				
区分	氏 名	住 所	免状の種類	保安手帳番号
正	長崎 一郎	長崎市・・・	甲種・乙種	㊦1321 号
副	佐賀 三郎	長崎市・・・	甲種・乙種	㊦3989 号
副			甲種・乙種	㊦ 号
代	福岡 次郎	諫早市・・・	甲種・乙種	㊦2376 号
代			甲種・乙種	㊦ 号

- (注) 1 免状の種類は、都道府県知事行った試験によるものである。
- 2 1 ケ月に 1 トン以上の火薬又は爆薬を消費場合の正は甲種、副は乙種又は甲種、代理者は甲種とする。
- 3 1 ケ月に 25kg 以上の火薬又は爆薬を消費する場合の正、副、代理者は各々乙種又は甲種とする。

【算出方法】

$$\begin{aligned} & \text{採取量等工事量の大きさ(㎡)} \times \text{岩石等 1 ㎡当たりの碎石に必要な平均薬量(g)} \\ & = \text{採取等に必要な火薬類の薬量(kg)} \end{aligned}$$

危険予防の方法その他説明

代表者名 長崎 太郎

㊞

1	発破孔の穿孔方法	(1) 手掘 (2) 機械堀					
2	火薬類込棒の種類	竹の棒					
3	工業雷管と導火線の 締付器	(1) 締付器 (2)					
4	電気雷管による 起爆の電源種類	(1) 発破器 (2) 電灯線 (3) 蓄電池 (4)					
5	1日の発破回数 発破時刻	2回					
(1)		11時	55分	(5)	時	分	
(2)		17時	55分	(6)	時	分	
(3)		時	分	(7)	時	分	
(4)		時	分	(8)	時	分	
6	発破前の付近の民家等に対する予告の方法	(1) サイレン (2) 笛 (3) 鐘 (4) 口頭 (5) 赤旗 (6)					
7	警戒人の人数	4人					
8	火薬類取扱所及び火工所の位置並びに構造 (位置は図面に示しておくこと。)	火薬類取扱所			火工所		
(1) 鉄筋コンクリート造 (2) コンクリートブロック造 (3) 鋼板 (4) 木造 (5) その他		(1) 木造 (2) テント式 (3) その他()					
9	飛散防止設備等について (防止柵があるときは、消費場所を消費示す図面に位置及び大きさを示しておくこと。)	(1) 防止柵について					
無		有	防止柵の種類				
			金網	竹			
(2) 発破箇所の被覆について							
し な い		す る	被覆用材				
			古畳	古タイヤ	古漁網		
備考	〈注〉 季節により発破時刻の変動に要注意。						

(注) (1) 2、5、7の右欄は、申請人で記入し、その他は該当事項を○で囲むこと。

(2) 8の火薬類取扱場所については、正面、側面、内部の写真を添付すること。ただし、内部がどうしても撮影できない場合は、その旨記入すること。

火 薬 類 保 管 依 頼 書

今般消費の目的で現場に持って行った火薬類が万一残った
場合は、貴店に保管願いたく依頼します。

平成 26 年 4 月 1 日

長崎中央火薬販売店 御 中

(依頼者) 長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎

⑨

火 薬 類 保 管 承 諾 書

上記火薬類保管御依頼の件承諾いたします。

平成 26 年 4 月 1 日

長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎 様

(承諾者) 長崎中央火薬販売店

〇〇 〇〇

⑨

(注) 正規の火薬庫、貯蔵所があるところは、これを添付しないでよい。

工 事 証 明 願

- 1 工 事 名 県道 5 1 号線 新設・改良工事
2 工事施行者 長崎建設株式会社
3 工事箇所 長崎市小江原町1234～2345番地外13筆
4 工事期間 平成 2 6 年 3 月 1 日から平成 2 6 年 1 2 月 1 日まで
5 火薬類の消費目的 県道 5 1 号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎
6 火薬類の種類及び数量

火薬	50kg	工業 雷管	150個	導火線	30m
爆薬	1200kg	電気 雷管	1800個		

上記工事のため火薬類の譲受及び消費許可申請をいたしますので、上記のとおり相違ないことを御証明願います。

平成 2 6 年 4 月 1 日

長 崎 振 興 局 長 様

住 所 長崎市江戸町 1 番 1 号

氏 名 長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎 ⑩

証 明 書

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 2 6 年 4 月 1 日

証 明 者

住 所 長崎市・・・

氏 名 長崎振興局

長崎振興局長 □□ □□ ⑩

(注) 1 公共事業等で火薬類を消費する場合は、官公庁の証明書であるが、個人事業等の場合でもこの用紙を使用するものとする。

2 公共事業等での下請の際もこの用紙を利用し、1 行目の工事証明願の左に、下請と記入すること。

火 薬 類 消 費 承 諾 願

- 1 消 費 期 間 自 平成 2 6 年 5 月 1 日
至 平成 2 6 年 1 0 月 3 1 日
- 2 消 費 場 所 長崎市小江原町 1 2 3 4 ～ 2 3 4 5 番地外 1 3 筆
- 3 消 費 目 的 県道 5 1 号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎

上記のとおり貴殿所有の土地において火薬類を消費することを
御承諾願います。

平成 2 6 年 3 月 2 0 日

(地 主)

〇〇 〇〇 様

(消費者)

氏 名 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 ㊞

承 諾 書

上記の件について承諾します。

平成 26年 3月 20日

(消費者)

氏 名 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎

(地 主)

氏 名 〇〇 〇〇 ㊞

(注) 地主が他人である場合、この用紙を使用すること。

誓 約 書

- 1 消費場所 長崎市小江原町 1 2 3 4 ～ 2 3 4 5 番地外 1 3 筆
- 2 消費目的 県道 5 1 号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎

上記の土地は私の所有であることは相違ありませんが、万一火薬類の消費について、他より意義の申立てがあっても県に対しては、御迷惑をかけないことを誓約いたします。

平成 2 6 年 4 月 1 日

長 崎 県 知 事 様

(住 所) 長崎市江戸町 1 番 1 号

(氏 名) 長崎建設株式会社

代表取締役 長崎 太郎 ⑩

(注) 自己の土地において火薬類を消費する場合、この用紙を使用すること。

火薬類消費承諾書

- 消費期間 平成26年5月1日～平成26年10月31日
- 消費場所 長崎市小江原町1234～2345番地外13筆
- 消費目的 県道51号線 新設・改良工事に伴う岩石破碎

貴殿居住(管理)の家屋()の付近で上記のとおり火薬類を消費したいので御承諾願います。

平成26年3月20日

(住所) 長崎市小江原町…
(氏名) ○○ ○○

(住所) 長崎市小江原町…
(氏名) △△ △△ 様

消費者
(住所) 長崎市江戸町1番1号
(氏名) 長崎建設株式会社
代表取締役 長崎 太郎 ㊞

承諾書

上記の件については、承諾いたします。

平成26年 3月20日

長崎建設株式会社 様

(住所) 長崎市…
(氏名) ○○ ○○

(住所) 長崎市…
(氏名) △△ △△

(注) 火薬類を消費する場所の付近の住家或いは学校、病院等の承諾を求める場合、この用紙を使用すること。

火薬類製造・取扱保安責任者等選任・解任届

平成 2 6 年 4 月 1 日

長 崎 県 知 事 様

会 社 名 長崎建設株式会社

代表者氏名 代表取締役 長崎 太郎 ㊞

名 称		長崎建設株式会社		
事 務 所 所 在 地 (電 話)		(〒850-0000) (電話 111-0000) 長崎市江戸町 1 番 1 号		
事 業 所 所 在 地 (電 話)		(〒 -) (電話)		
製 造 所	所在地及び 製 造 区 分			
火 薬 庫	所在地及び 種 類 ・ 棟 数	式 級 ・ 火薬庫 棟		
消 費 場 所	消費場所及 び火薬類取 扱所・火工所	火薬類取扱所 ・ 火工所 1 箇所		
選 任	氏 名 (製造・取扱)	(正) 長崎 一郎	(代理者) 福岡 次郎	(副) 佐賀 三郎
	免 状 種 別	甲 種	甲 種	乙 種
	県 ・ 番 号	長崎県 1321 号	長崎県 2376 号	長崎県 3989 号
解 任	氏 名 (製造・取扱)	(正)	(代理者)	(副)
	免 状 種 別	種	種	種
	県 ・ 番 号	県 号	県 号	県 号
選任(解任)年月日		平成 2 6 年 4 月 1 日		
備 考				

(注)本様式は、平成 23 年 4 月 26 日付け「九州政策連合」の統一様式によるものです。

履 歴 書	
1 本 籍 地	
2 現 住 所	長崎市・・・
3 氏 名	長崎 一郎
4 生年月日	1970 年 9 月 4 日
5 最終学歴	県立建設大学校 土木部 建設科卒業
H4 年 3月	
6 業 歴	
職 業	
H4 年 4 月	・・・会社 入社
H10 年 8 月	・・・会社 入社
H15 年 3月	長崎建設株式会社 入社
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
上記のとおり相違ありません	
平成26年3月20日	
氏 名 長崎 太郎 印	

平成26年3月25日

社員出向承諾書

長崎建設株式会社 様

証明者

住 所 諫早市・・・

氏 名 諫早建設

代表者 代表取締役 諫早 太郎 ⑩

このたび、県道51号線 新設・改良工事における火薬類の消費作業に、
当社社員 2 名を出向させることを証明いたします。

出向社員名

- 1 熊本 四郎
- 2 宮崎 五郎
- 3

出向期間

(自) 平成26年4月1日

(至) 平成26年12月31日